



★幸せな贈り物

小さな配慮 幸せな出会いの 始まりです

ビンラディン、彼はなぜテロリストになったのか

オサマ・ビンラディン (Osama Bin Laden) は、1957年サウジアラビア、リヤドで最大の建設会社社長だった父の52人の子どもの中で17番目の息子として生まれました。当時、彼の母は十五歳でしたが、シリア出身で、家では「奴隷」と呼ばれて、ビンラディンは「奴隷の子ども」で通じていました。彼が最も好きだった人は、お母さんでしたが、ビンラディンの幼い時期は不幸でした。ビンラディンの実父は、彼が九歳のとき、サウジのアシール地域で、アメリカの操縦士が操縦していた飛行機事故で亡くなりました。9・11テロ当時、飛行機の拉致犯の中で5人がその地方の出身です。その後、ビンラディンには2億5,000万ドルに達する遺産が払われたのですが、1979年ソ連がアフガニスタンを侵攻した後、彼は侵略者に対抗して戦うことを望む若くて理想にいっぱい満ちたアラブ闘士を助け始めました。この過程で、サウジ国籍を剥奪されて、家とも縁を切るなど、個人的な犠牲も払いました。そのような過程の出会いの中で、彼は想像もできない悪事を行う急進主義者になりました。もし、彼に良い出会いがあったとすれば、世の中は大いに変わったでしょう。

この頃のニュースで聞こえてくる知らせは、親と子ども、人と人間の関係が断絶しているというぞっとするニュースがあふれています。各文化が崩壊する直前、その最後の段階に典型的な行動パターン十

一個が現れると言われています。その中で、理由なく簡単にしてしまう離婚の急増、子どもの数の減少、親を蔑視することの増大、結婚式の意味の退潮、姦淫禁止規定の廃止、子どもの養育の困難の増大、青少年飛行の急速な波及、各種の性的な倒錯の普遍化など、家庭と直結したことが八個もあります。どのようにすれば、親と子どもの間に、人と人の間に幸せな出会いと幸せな人間関係を持つことができるのでしょうか。韓国のカーネギー研究所のチェ・ヨンスン所長が27年間、カーネギーコースを教育しながら積んだノウハウを一冊に構成した〈成功の85%は人間関係だ〉という本を見れば、成功軌道に乗る人間関係の原則を「微挨拶対称非批不」と表現しました。

「微-微笑は私たちを幸せにします。挨拶-挨拶は私たちの心を開かせます。対-対話はお互いの理解を高めてくれます。称-称賛はお互いに勇気を植え付けます。非-非難するよりは理解を、批-批判するよりは協調を、不-不平を言うよりは感謝を...」実際に微笑を浮かべた挨拶と関心一つで、アメリカ東南部のハーバードと呼ばれるエモリー大学を起こした人がいます。ジェームズ・レイニー (James T. Laney) は、エモリー大学のキャンドラー神学校の教授で、1993年から4年間駐韓アメリカ大使を過ごし、後でエモリー大学総長を歴任しました。彼は自転車で学校に往復しながら、見て会う人ごとに微笑を浮かべて、笑いながら、親切に接してあげました。ある日、公園

のベンチに退職したような老人がさびしく座っていました。それで、そのおじいさんに近づいて行って挨拶して、話をして、また通り過ぎて自転車を止めて話して、そのように親切に接してあげました。ところで、ある時、そのベンチに老人が見えませんでした。ひょっとして、その人が病気になったのか、何かことが起こったのか、亡くなったのではないかという気になったレイニー教授は、その方の家を訪ねて行くようになりました。幸い、その老人は家にいました。レイニー教授は名刺を渡しながら「おじいさん、何かことが起これば私に連絡してください。私に電話してくれれば、私が喜んで来て、助けあげます」そのとき、この老人がしばらく待ってくださいと言いながら封筒一つを渡しました。その封筒の中にはレイニー教授あてに、1億500万ドル(約120億円)の小切手が入っていました。レイニー教授は、これをもらう理由もなく、受ける資格もないと遠慮しました。そのとき、その老人が言うのに「お金をあげようとするのではなく、お金を最も価値あるように使える人を探していたが、このお金を最も価値あるように使える人に会ったのが私には喜びだ」と話しました。この人がまさにコココーラ創始者ロバート・ウッドラフ (Robert Woodruff) です。この金額は歴代最高の寄付金で、その時からエモリー大学は急成長して、南部で有名な大学になりました。

小さい配慮の開始

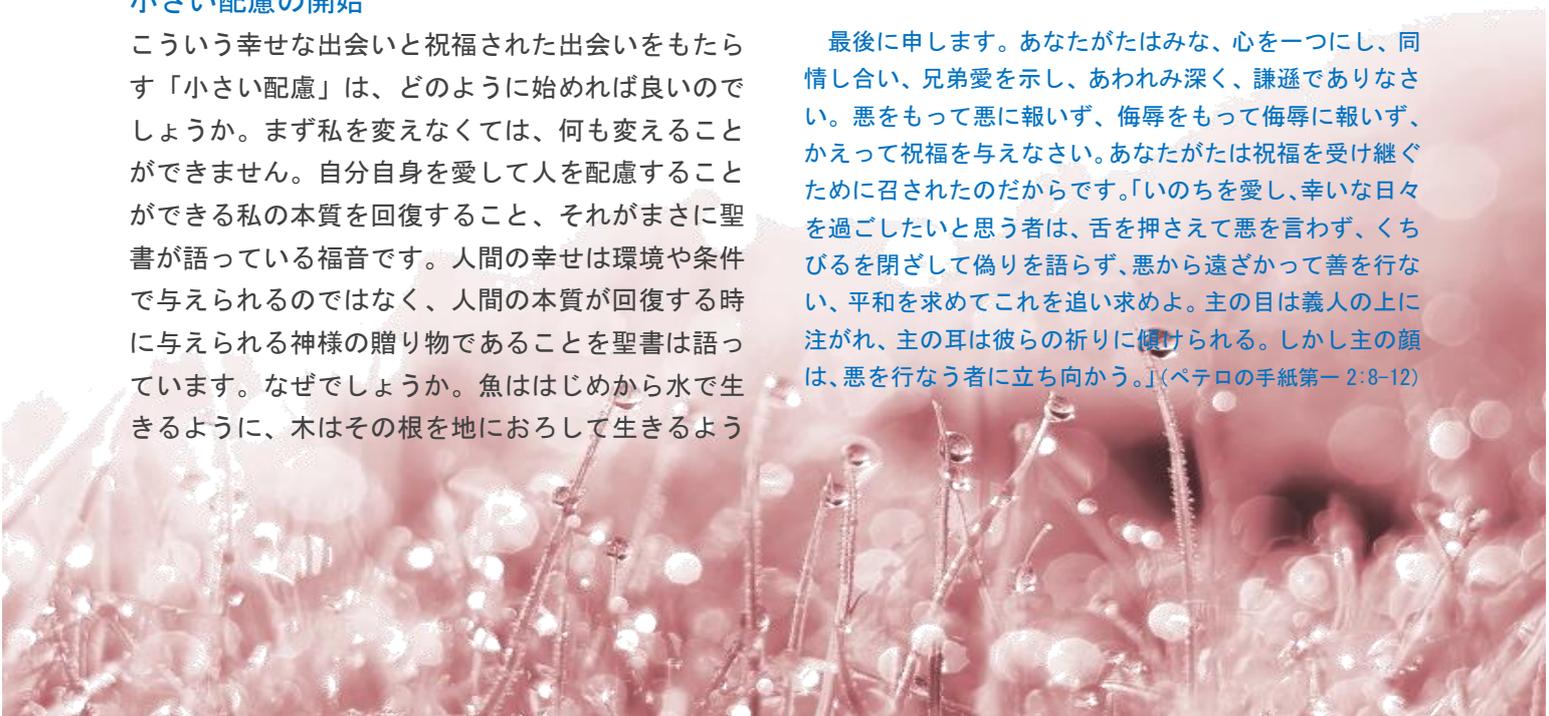
こういう幸せな出会いと祝福された出会いをもたらす「小さい配慮」は、どのように始めれば良いのでしょうか。まず私を変えなくては、何も変えることができません。自分自身を愛して人を配慮することができる私の本質を回復すること、それがまさに聖書が語っている福音です。人間の幸せは環境や条件で与えられるのではなく、人間の本質が回復する時に与えられる神様の贈り物であることを聖書は語っています。なぜでしょうか。魚ははじめから水で生きるように、木はその根を地におろして生きるよう

に創造されました。同じように、たましいを持った人間は、神様とともにいて幸せと祝福を味わうように創造されました。しかし、全人類を代表した最初の人アダムがサタン(悪魔)という霊的な存在の誘惑を受けて神様を離れて罪人になった瞬間から、人間には理解できない不幸がやってくるようになります。理由も分からないのろいと災い、そして、運命と運勢、あふれ出る偶像崇拜と精神問題、崩れていく家庭と子どもたち、各種の病気と経済問題、機械文明の便利さは人間関係により大きい孤独を抱かせています。そして永遠に解けずにいる死後に対する不安...

善行や教育、哲学、宗教は良いのですが、このような人間の本質的な問題を解決することはできないことを私たちは世の中のニュースを通して知っています。それで、神様は人間にすべての問題を解決する「キリスト」の約束をくださいました。イエス・キリストの十字架の死と復活の事件を通して人間の罪とがを赦し、サタン(悪魔)を縛り、すべての人に運命と運勢、罪とのろいから解放される道を開いてくださいました。だれでもイエス・キリストを信じて受け入れれば神様の子どもになります。永遠な神様の子どもに本質が回復します。そのときから、人間に与えられるすべての出会いは、幸せと祝福の土台になるのです。これが聖書のみことこの約束です。

あなたは幸せな出会いの主人公です。

最後に申します。あなたがたはみな、心を一つにし、同情し合い、兄弟愛を示し、あわれみ深く、謙遜でありなさい。悪をもって悪に報いず、侮辱をもって侮辱に報いず、かえって祝福を与えなさい。あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのだからです。「いのちを愛し、幸いな日々を過ごしたいと思う者は、舌を押さえて悪を言わず、くちびるを閉ざして偽りを語らず、悪から遠ざかって善を行ない、平和を求めてこれを追い求めよ。主の目は義人の上に注がれ、主の耳は彼らの祈りに傾けられる。しかし主の顔は、悪を行なう者に立ち向かう。」(ペテロの手紙第一 2:8-12)





幸せな家庭

—5段階の時刻表

人はだれでも幸せな家庭を夢見ながら結婚をします。しかし、家庭を作って生活をしていると、自分が夢見ていた家庭が形成されません。それで、人々は葛藤して、さまよって、結局は崩れてしまう家庭が多いのです。

その原因を見てみれば、一つ目は家庭を作るために配偶者を選択するとき、自分の幸せのための配偶者を選択するためで、二つ目は、自分が願う幸せな家庭を作るための時間を投資したり努力しないことで、三つ目は社会的に成功すれば家庭が幸せになるという誤った考えを持っているためです。

幸せな家庭を維持することを願うなら、私たちの結婚生活に必ず越えなければならない五段階があります。

①**新婚から3年まで**-この時期は、ロマンチックな段階としてお互いがバランスを取っていく時期です。お互いが相手の弱点を受け入れて、価値観と期待などを互いに合わせようと努力しなければなりません。

②**結婚後4年から9年の間**-この時期は、現実的で、倦怠期の段階で、新婚の時の夢やロマンが現実の前で消えて相手方の弱点が著しく浮び上がり始め、相手に対する期待感が消え、新しい苦悶に陥る時期です。

③**結婚後10年から15年の間**-この時期、夫は事業や職場の仕事に没頭して、妻は子どもたちの養育に没頭するようになって、夫婦間の葛藤は壮年期の忙しい生活の中で潜伏される段階です。

④**結婚後16年から20年の間**-この時期は、中年期の衝突段階として、性的能力減退と意欲不足など更年期の症状が現れる時です。生理的変化は、情緒的心理変化をもたらして、平凡で退屈になり、挫折と夢の喪失で、どんな夫も妻に英雄である人ではないと言います。この時が最も危険な時期です。

⑤**結婚後20年**-この時期になれば、約94%夫婦が良くない状態で、離婚または別居をしたり、あきらめ状態で暮らして、6%の夫婦だけが成熟した夫婦として生活するようになると言われています。

あなたの家庭はどの段階でしょうか。そして、結婚生活20年後、離婚や別居、そうでなければ、あきらめの状態で生きていく94%の家庭になりそうですか。6%の成熟した夫婦になりそうですか。6%の成熟した夫婦になりたいですか。家庭を祝福することを願っておられる神様に会えば良いのです。

妻たちよ。あなたがたは、主に従うように、自分の夫に従いなさい。なぜなら、キリストは教会のかしらであって、ご自身がそのからだの救い主であられるように、夫は妻のかしらであるからです。教会がキリストに従うように、妻も、すべてのことにおいて、夫に従うべきです。**夫たちよ。**キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。…そのように、夫も自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する者は自分を愛しているのです。…それはそうとして、あなたがたも、おのおの自分の妻を自分と同様に愛しなさい。妻もまた自分の夫を敬いなさい。(エペソ 5:22-33)



神様の子どもになる

受け入れの祈り

愛の父なる神様。

私は罪人です。今まで神様を離れ、サタン(Satan)の支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。

しかし、今、この時間、イエスを私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してください。さしたるキリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。

イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかさされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

